

1)新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ニトロールスプレー1.25mg (硝酸イソソルビド) 狭心症発作寛解用口腔内スプレー剤 薬価:834.30 円/1 瓶 エーザイ	<効能効果>狭心症発作の寛解 <用法用量>通常、成人には、1 回 1 噴霧(1.25mg)を口腔内に投与する。なお、効果不十分の場合には、1 回 1 噴霧にかぎり追加する。 <説明文>狭心症の発作をしずめるスプレー薬です。口の中にスプレーします。	
イノソリッド配合経腸用半固形剤 300g 半固形経腸栄養剤 薬価:14.40 円/10g、432 円/300g1 袋 大塚製薬工場	<効能効果>一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。 <用法用量>通常、成人標準量として 1 日 900～1,500g(900～1,500kcal)を胃瘻より胃内に 1 日数回に分けて投与する。投与時間は 100g 当たり 2～4 分(300g 当たり 6～12 分)とし、1 回の最大投与量は 600g とする。また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。 <説明文>食事の摂取が困難なときの栄養補給に用いられます。	

2)仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ポブスカイン 0.25%注 25mg/10mL (塩酸レボブピバカイン) 長時間作用性局所麻酔剤(アミド型) 薬価:247 円/25mg10mL1 管 丸石製薬	<効能効果・用法用量>●術後鎮痛:手術終了時に、通常、成人に 6mL/時(15mg/時)を硬膜外腔に持続投与する。なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により 4～8mL/時の範囲で適宜増減する。●伝達麻酔:通常、成人に 1 回 40mL(100mg)までを目標の神経あるいは神経叢近傍に投与する。複数の神経ブロックを必要とする場合でも、総量として 60mL(レボブピバカインとして 150mg)を超えないこと。なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により適宜減量する。	
エボジン皮下注シリンジ 24000 (エボエチン ベータ(遺伝子組換え)) 遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 薬価:12,429 円/1 キット 中外製薬株	<効能効果>貯血量が 800mL 以上で 1 週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血 <用法用量>通常、ヘモグロビン濃度が 13g/dL 未満の患者には初回採血 1 週間前から、ヘモグロビン濃度が 13～14g/dL の患者には初回採血後より、成人には 1 回 24000 国際単位を最終採血まで週 1 回皮下投与する。初回採血は、予定貯血量が 800mL の場合は手術 2 週間前、1200mL の場合は手術 3 週間前を目安とする。なお、患者のヘモグロビン濃度や予定貯血量等に応じて投与回数や投与期間を適宜増減する。	
シルガード 9 水性懸濁筋注シリンジ 組換え沈降 9 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来) 薬価未収載 MSD	<効能効果>ヒトパピローマウイルス 6、11、16、18、31、33、45、52 及び 58 型の感染に起因する以下の疾患の予防●子宮頸癌(扁平上皮癌及び腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍(CIN) 1、2 及び 3 並びに上皮内腺癌(AIS))●外陰上皮内腫瘍(VIN) 1、2 及び 3 並びに陰上皮内腫瘍(VaIN) 1、2 及び 3●肛門癌(扁平上皮癌)及びその前駆病変(肛門上皮内腫瘍(AIN) 1、2 及び 3)●尖圭コンジローマ <用法用量>9 歳以上の者に、1 回 0.5mL を合計 3 回、筋肉内に注射する。通常、2 回目は初回接種の 2 ヶ月後、3 回目は 6 ヶ月後に同様の用法で接種する。9 歳以上 15 歳未満の者は、初回接種から 6～12 ヶ月の間隔を置いた合計 2 回の接種とすることができる。	
ペンレステープ 18mg (リドカイン) 貼付用局所麻酔剤 薬価:33.20 円/30.5mm×50.0mm1 枚 マルホ	<効能効果・用法用量>●静脈留置針穿刺時の疼痛緩和:1 回 1 枚、静脈留置針穿刺予定部位に約 30 分間貼付する。●伝染性軟属腫摘除時の疼痛緩和:通常、小児には 1 回 2 枚までを、伝染性軟属腫摘除予定部位に約 1 時間貼付する。●皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和:通常、成人には 1 回 6 枚まで、小児には下記枚数までを、レーザー照射予定部位に約 1 時間貼付する。3 歳以下(2 枚)、4 歳～5 歳(3 枚)、6 歳～7 歳(4 枚)、8 歳～9 歳(5 枚)、10 歳以上(6 枚)	

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
プラリア HI 皮下注 60mg シリンジ 0.5mL	プラリア皮下注 60mg シリンジ	切替
エタネルセプト BS 皮下注 25mg ペン 0.5mL「MA」 エタネルセプト BS 皮下注 50mg ペン 1.0mL「MA」	同 25mg シリンジ 0.5mL「MA」 同 50mg シリンジ 1.0mL「MA」	切替
ラゲブリオ錠 400mg	ラゲブリオカプセル 200mg	切替
フリウェル配合錠 LD「モチダ」	ルナベル配合錠 ULD	追加
破トキ「ビケン F」	沈降破傷風トキシイド「生研」	追加 沈降破傷風トキシイド「生研」供給不良
リンデロン懸濁注(2.5 mg/0.5mL)	リンデロン注 2mg/0.5mL リンデロン注 4mg/1.0mL	追加 ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL 供給停止

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
ダルベポエチンアルファ BS 注 30 μ g シリンジ「三和」	ネスプ注射液 30 μ g プランリンジ	
ゾピクロン錠 7.5mg「サワイ」	アモバン錠 7.5	製造中止
フリウェル配合錠 ULD「あすか」	ルナベル配合錠 ULD	
ベンズプロマロン錠 50mg「NIG」	ユリノーム錠 50mg	
タクロリムスカプセル 0.5mg「VTRS」 タクロリムスカプセル 1mg「VTRS」	プログラフカプセル 0.5mg プログラフカプセル 1mg	
デュロキシセチン OD 錠 20mg「明治」	サインバルタカプセル 20mg	
クロバタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「イキ」	デルモベート軟膏 0.05%	製造中止
クロバタゾールプロピオン酸エステルローション 0.05%「イキ」	デルモベートスカルブローション 0.05%	製造中止
ラタノプロスト点眼液 0.005%「NP」	キサラタン点眼液 0.005%	
ブロムフェナク Na 点眼液 0.1%「日点」	プロナック点眼液 0.1%	
MS 温シップ「タイホウ」(20g×5 枚) MS 冷シップ「タイホウ」(20g×5 枚)	MS 温シップ「タカミツ」(40g×5 枚) MS 冷シップ「タカミツ」(40g×5 枚)	

5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	備考
インスリンリスプロ BS 注ソロスター-HU「サノフィ」	採用薬からの切替
ラミシール錠 125mg	
ボナロン錠 5mg	
セルタッチパップ 70 (7 枚/袋)	
プロクトセディル坐薬	
クレナフィン爪外用液 10%	

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ベンリスタ皮下注 200mg オートインジェクター (ベリムマブ(遺伝子組換え)) 完全ヒト型抗 BLyS モノクローナル抗体	〈効能効果〉既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス 〈用法用量〉●成人:通常、1 回 200mg を 1 週間の間隔で皮下注射する。●小児:通常、5 歳以上の小児には、1 回 200mg を、体重に応じ以下の間隔で皮下注射する。40kg 以上:1 週間の間隔、15kg	

薬価:26,873 円/1 キット グラクソ・スミスクライン	以上 40kg 未満:2 週間の間隔
ヒルトニン 0.5mg 注射液 (プロチレリン酒石酸塩水和物) 視床下部ホルモン剤(TRH 製剤) 薬価:691/1A T's 製薬	〈効能効果・用法用量〉●遷延性意識障害(ただし、昏睡、半昏睡を除く):通常、成人には疾患に応じて、下記の用量を 1 日 1 回 10 日間静注又は点滴静注する。静脈内注射の場合は、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は注射用水 5～10mL に希釈して、徐々に注射する。○頭部外傷:1 回 0.5～2mg○くも膜下出血(ただし、意識障害固定期間 3 週以内):1 回 2mg●脊髄小脳変性症:通常、成人には 1 日 1 回 0.5～2mg を筋肉内又は静脈内に注射するが、重症例には 2mg を注射する。2～3 週間連日注射した後、2～3 週間の休業期間をおく。以後、これを反復するか、週 2～3 回の間歇注射を行う。静脈内注射の場合は、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は注射用水 5～10mL に希釈して、徐々に注射する。●下垂体 TSH 分泌機能検査:通常、成人には 1 回 0.5mg を静脈内又は皮下に注射する。静脈内注射の場合は、生理食塩液あるいは注射用水 5～10mL に希釈して、徐々に注射する。
エクラープラスター 20 μ g/cm ² (デプロドンプロピオン酸エステル) 外用副腎皮質ホルモン剤 薬価:37.70 円/1.5mg/7.5cm×10cm/1 枚 久光製薬	〈効能効果〉湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬を含む)、虫さされ、痒疹群[じん麻疹様苔癬、ストロフルス、結節性痒疹(固定じん麻疹)を含む]、乾癬、掌蹠膿疱症、肥厚性癬痕・クロイド、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、環状肉芽腫 〈用法用量〉患部を軽く洗浄し、よく乾燥させた後、本品を膏体面被覆ポリエステルフィルムに附着させたまま適当な大きさに切り取り、ポリエステルフィルムを取り除き、患部に膏体面を当てて貼付する。本品は、貼付後 12 時間又は 24 時間毎に貼りかえる。必要な場合、夜間のみ貼付する方法もある。なお、貼りかえるときにも患部の洗浄及び乾燥を行う。
トリンデリックス錠 10mg (ボルチオキセチン臭化水素酸塩) セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤 薬価:161.70/1 錠 武田薬品	〈効能効果〉うつ病・うつ状態 〈用法用量〉通常、成人には 10mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、患者の状態により 1 日 20mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて行うこと。
エバミール錠 1.0 (ロルメタゼパム) BZ 系睡眠導入剤 薬価:10.90 円/1 錠 丸石製薬	〈効能効果〉不眠症 〈用法用量〉通常、成人には 1 回 1～2mg を就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には 1 回 2mg を超えないこと。
アスペノカプセル 10 (アブリンジン塩酸塩) 不整脈治療剤 薬価:19.80/1 カプセル バイエル薬品	〈効能効果〉頻脈性不整脈の状態での他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 〈用法用量〉通常、成人には 1 日 40mg より投与をはじめ、効果が不十分な場合は 60mg まで増量し、1 日 2～3 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

医薬品名	備考
ヒューマログ注ミリオペン	採用薬からの切替
エルシトニン注 40 単位	
ケタラール静注用 200mg	
ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.4mL	
レミケード点滴静注用 100	
エタネルセプト BS 皮下注 25mg ペン 0.5mL「MA」	
エタネルセプト BS 皮下注 25mg ペン 1.0mL「MA」	
シンボニー皮下注 50mg シリンジ	
オレンシア点滴静注用 250mg	
オレンシア皮下注 125mg オートインジェクター 1mL	
アクテムラ点滴静注用 80mg	
アクテムラ点滴静注用 200mg	

アクテムラ点滴静注用 400 mg	採用薬からの切替
アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター	
ポリフル錠 500mg	
ポリフル細粒 83.3%	
テオロン錠 200mg	
ロブレソール錠 20mg	
ラミクタール錠 25mg	

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ノバミン筋注 5mg	使用実績なし
ケタール静注用 50mg	院内在庫使用期限切
ブラリア皮下注 60mg シリンジ	ブラリア HI 皮下注 60mg シリンジ 0.5mL に切替
エタネルセプト BS 皮下注 25mg シリンジ 0.5mL「MA」	エタネルセプト BS 皮下注 25mg ペン 0.5mL「MA」に切替
エタネルセプト BS 皮下注 50mg シリンジ 1.0mL「MA」	エタネルセプト BS 皮下注 50mg ペン 1.0mL「MA」に切替
レボフロキサシン点滴静注バッグ 500mg/100mL「DSEP」	レボフロキサシン点滴静注 500mg/20mL「DSEP」に切替
ネスブ注射液 30 μ g プラシリンジ	ダルベポエチンアルファ BS 注 30 μ g シリンジ「三和」に切替
ネスブ注射液 120 μ g プラシリンジ	使用実績なし
ネスブ注射液 180 μ g プラシリンジ	患者限定使用患者退院
ブロムペリドール錠 3mg「アメル」	患者限定使用患者退院
アイピーディカプセル 100	患者限定使用患者退院
プリモボラン錠 5mg	患者限定使用患者退院
ラソーダ錠 40mg	患者限定使用患者退院
テトラミド錠 10mg	患者限定使用患者退院
ゾフルーザ錠 20mg	使用実績なし
ラコール NF 配合経腸用半固形剤	製造中止
アモバン錠 7.5	製造中止、ゾピクロン錠 7.5mg「サワイ」に切替
ルナベル配合錠 ULD	フリウェル配合錠 ULD「あすか」に切替
ユリノーム錠 50mg	ベンズプロマロン錠 50mg「NIG」に切替
プログラフカプセル 0.5mg	タクロリムスカプセル 0.5mg「VTRS」に切替
プログラフカプセル 1mg	タクロリムスカプセル 1mg「VTRS」に切替
サインバルタカプセル 20mg	デュロキセチン OD 錠 20mg「明治」に切替
ラゲブリオカプセル 200mg	ラゲブリオ錠 400mg に切替
デルモベート軟膏 0.05%	製造中止、クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「イワキ」に切替
デルモベートスカルブローション 0.05%	製造中止、クロベタゾールプロピオン酸エステルローション 0.05%「イワキ」に切替
ラクリミン点眼液 0.05%	製造中止
キサラン点眼液 0.005%	ラタノプロスト点眼液 0.005%「NP」に切替
プロナック点眼液 0.1%	ブロムフェナク Na 点眼液 0.1%「日点」に切替
ニフラン点眼液 0.1%	ブロムフェナク Na 点眼液 0.1%「日点」あり
MS 温シップ「タカミツ」(40g×5 枚)	MS 温シップ「タイホウ」(20g×5 枚)に切替
MS 冷シップ「タカミツ」(40g×5 枚)	MS 冷シップ「タイホウ」(20g×4 枚)に切替
ハルロビテープ 24mg	患者限定使用患者退院

8) がん化学療法レジメン追加について

なし

9)その他

患者限定解除：ビムパット錠 100 mg

10)効能効果等の改訂のお知らせ (2025.6～2025.8)

リアルダ錠 1200mg	潰瘍性大腸炎(重症を除く)に対する 小児の用法等追加
ネスブ注射液	バルズチファン(ウェリグ錠)投与に伴う貧血 に対する効能等追加
マグミット錠	便秘症に対する 1 歳以上の 小児の用法等追加
シルガード 9 水性懸濁筋注シリンジ	9 歳以上の男性への接種対象拡大 肛門癌及びその前駆病変(男性及び女性)と、尖圭コンジローマ(男性)の予防の適応追加

11)禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2025.6～2025.9)

オゼンピック、マンジャロ、ソリクア、 リベルサス	【特定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:「腹部手術の既往又はイレウスの既往のある患者」追記 【重大な副作用】「イレウス」追記
フェソロデックス	【重大な副作用】「アナフィラキシー」追記
ARB 製剤・ARB 配合剤・エンレスト	【重大な副作用】血管浮腫の項を血管性浮腫に名称変更し、「腸管血管性浮腫に関する注意喚起」追記
アサコール、ペンタサ、リアルダ アザルフィジン EN、サラブピリン	【重大な副作用】「抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎」追記
ヒュミラ、アダリムマブ	【重大な副作用】「自己免疫性肝炎」追記
メロペネム	【重大な副作用】「急性汎発性発疹性膿疱症」追記
ゲムシタビン	【効能又は効果に関連する注意】尿路上皮癌において、「本剤の術前・術後補助療法における有効性及び安全性は確立していない旨」を、「本剤の術後補助療法における有効性及び安全性は確立していない旨」に変更

12)院内副作用報告 (2025.6～2025.9)

【当院処方事例のみ記載】

ヘルベッサー	眩暈
コバシル	血管浮腫・口唇周囲腫脹
セレコキシブ	発疹